

第80回日本臨床眼科学会

ランチョンセミナー7

日時▶2026年10月29日(木) 12:30~13:20

場所▶第8会場(国立京都国際会館 1F Room E)

使ってほしい!! 今こそ“国産”のIOLと フェイコマシーン

座長のことば

近年、白内障手術の分野では、眼内レンズ(IOL)の進化に加え、手術デバイスの改良も著しく進展しています。臨床現場においては、安全性や安定性のみならず、術中操作性、術後視機能、さらには患者満足度まで含めた多面的な観点から、患者ごとに最適なIOLおよびデバイスを選択することが、これまで以上に重要となっています。

ニデック社のIOLにおいては、トーリックIOLであるNP-T、ならびにEnhanced MonofocalであるNSP-3が広く知られており、それぞれ優れた視機能と高い臨床的有用性が報告されています。特に、乱視矯正精度や術後の見え方の質に対する関心が高まる中、各IOLの特性を理解し、症例ごとに適切に選択することの重要性が高まっています。

また、超音波乳化吸引術に用いられる手術デバイスにおいても、核破碎効率の向上と術中安定性の改善が求められており、近年では超音波チップの設計や発振特性にも注目が集まっています。手術時間の短縮や眼内組織への侵襲軽減を目指した新たな技術開発は、白内障手術の質向上に寄与すると期待されています。

本セミナーでは、ニデック社のIOLならびに新たに発売された超音波チップについて、実際の使用経験や手術成績を含め、日頃より多数の白内障手術を手掛けておられる先生方にご講演いただきます。実践的な知見を通じて、日常診療におけるIOLおよびデバイス選択、さらには手術戦略を再考する有意義な機会となればと存じます。

本講演が、白内障手術における皆様の診療および手術手技向上の一助となれば幸甚に存じます。

座長



Hisanori Imai

今井 尚徳先生

関西医科大学眼科学講座
主任教授

演者



Takahiro Matsuoka

NP-Tトーリック眼内レンズの
術後視機能および
光学品質の前向き検討

松岡 貴大先生

静岡赤十字病院 眼科副部長/
浜松医科大学眼科学講座

演者



Kazunobu Sugihara

“後悔しにくい”
眼内レンズ選択: NSP-3

杉原 一暢先生

島根大学医学部眼科学講座
講師・医局長

演者



Hisaharu Suzuki

新型チップによる
Cubeaの進化

鈴木 久晴先生

善行すすき眼科 院長